

夢の田舎暮らし

現地見学会に45組99人が参加

町では平成17年10月合併時から現在までに、約800人の人口が減少していることから、町有地を有効利用して人口増を図ろうと、町外者に対し住宅用地を無料で貸す「農ある田舎暮らし高手の里」を展開しています。

町は希望者に現地を見ていただき、地元の方たちと交流してもらおうと11月23日、現地見学会を開催しました。

手打ちそばなどいもてなす

この高手の里は大山田下郷

地区の町有地約1haを10区画に整備し、那珂川町に居住を希望する方に住宅用地として20年間無償で貸与するものです。1区画約150坪で家屋を新築し、さらに家庭菜園などに利用するなど自由に使用することができま

す。9月中ごろから約2カ月間現地見学会の募集を行ったところ、58組118名の申し込みがあり、その希望者に対して11月23日、現地見学会を開催しました。

当日は東京や埼玉、神奈川などから申し込みしていた希望者や申し込みなしで直接現地へ駆けつけた希望者など45組99人が参加し、高手の里はにぎわいを見せました。

大山田下郷農村活性化



職員から説明を受ける見学者



朝5時に新宿から車で一番乗りした永田さん一家

施設で行われた開会式で川崎和郎町長は「この事業は町の活性化や町民人口の増加、あるいは遊休農地の活用などを目的に実施しています。アユの漁獲量日本一の清流那珂川や緑豊かですばらしい自然が那珂川町の資源です。現地に流れている武茂川の水が都市の皆さんの生活を維持して来たと言っても過言ではありません。

この自然豊かな那珂川町に住んでいただき、地域の活性化にご尽力いただければと思います」とあいさつしました。地元代表の屋代一男さんは「ここ高手の里はのんびりとした

空気や水がきれいな所です。お米や野菜などおいしい自然の恵みを堪能してください。地元の方はみな親切で心温かな人ばかりです。きつと、皆さんを歓迎してくれるでしょう。ぜひ、高手の里に住んでいただきたいと思います」とあいさつ。参加者は約800m離れた町有地まで歩いて行き、現地を見学しました。

見学終了後は、再度農村活性化施設へ戻り、那須小川まほろば太鼓の演奏を聴き、職員手作りの新そばや薪で炊いたご飯のおにぎり、アユの塩焼き、けんちん汁に舌鼓を打ちました。

最後に地元でとれた自家製野菜をお土産に参加者は帰路につきました。

「高手の里」で



参加者の約6割が
東京近郊在住者



現地説明会で寄せられた
参加者からの質問Q&A



現地見学会の参加者を都道府県別に集計した結果、31%が東京都、18%が埼玉県、9%が神奈川県在住者で、全体の約6割が東京近郊在住者でした。その他、茨城県や千葉県からの参加者も見られ、県内在住者は36%でした。

また、参加者の年齢は約50歳以上60歳未満の方が53%、60歳以上の方が36%を占めました。30歳以上40歳未満の方が3人、全体で50歳未満の方が5人でした。

Q 20年後の取り扱いは？
A 契約更新は可能です。また、20年間居住した実績をもつて譲渡することも考えています。ただし、その時の情勢、それまでの状況の変化を踏まえた上で対応したい。

Q 町木材需要拡大事業費補助金制度とはどんなものか？
A 家の新築時に八溝材を60%以上使用した場合に1㎡につき2,000円（限度額30万円）を交付する既存の制度です。

Q 町合併処理浄化槽整備事業費補助金制度とはどんなものか？
A 既存の制度で5人槽332,000円、7人槽で414,000円を交付します。

Q 住宅建築後にペットを飼うのは可能か？
A 可能です。

Q 家畜（ヤギなど）を飼うのは可能か？
A 近所とのトラブルを避けるため事前に説明し、了解が必要ですよ。

Q 建築業者は町で仲介（世話）してくれるのか？
A 町内業者の紹介について

は何らかの方法で考えています。しかし仲介については、考えていません。

Q 希望者が多い場合は抽選になるのか？
A 入居者の選考にあたっては町の審査により決定します。

Q 年齢制限は緩和できないか？
A 入居希望者が多いこともあり、募集要件を変えることはありません。原則どおり65歳以下を対象とします。

Q 上下水道はどうなるのか？
A 上下水道、道路、区画整備については町が平成21年度の事業として整備する予定です。下水道については合併浄化槽を各自設置してもらうこととなります。ただし、その場合には町の合併処理浄化槽設置補助事業により工事費の一部を補助します。

Q 高手の里以外にこのような事業は、今後あるのか？
A 今のところ考えていません。

